

教育大綱

地方公共団体の長が、地域の実情に応じて、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

この大綱の対象期間は「第5次下田市総合計画」に合わせ、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

教育大綱の性質

この教育大綱は、下田市民一人一人が人づくりやまちづくりを地域ぐるみで推進する指針となるように策定しました。子どもから大人まで、一人一人が『好き』を伸ばし、未来を創る人材育成に自ら参画するという目標をもって取り組んでいくためのイメージの源泉となるものです。

下田市教育大綱に添えて

The image is a composite. On the left side, there is a portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a dark jacket over a light-colored shirt. On the right side, there is a large grid of asterisks (*) arranged in 5 rows and 20 columns. The background of the entire image is a photograph of a stone wall with green plants growing on it.



令和8年3月
下田市長

松本正一郎

開国のまちから未来へ

下田市教育大綱

令和8年3月策定



開国のまちから未来へ

下田市教育大綱 令和8年4月～令和13年3月

教育理念

『好き』を伸ばし 未来を創る

学んで得た知識や下田での経験が新たな未来を切り拓く

生涯にわたって学び続ける原動力は「好き」であること。好きなことは一人一人違う。好きなことはいくつあっても、まだなくてもいい。下田の豊かな自然の中で、温かい地域の中で皆がつながって、子どもも大人も、「好き」になること「好き」であることを大切にします。

「好き」が原動力となる学びは、主体的な姿となり、多様な他者と協働することでさらに学びを深めます。それは自分の人生を舵取りするエネルギーとなり、自らの未来を創ることとなります。

下田市における教育の基本理念

伊豆の象徴天城山を背景に、のどかな里山を流れる川は碧く輝く美しい海に注ぎ込み、豊かな自然を育んでいます。そして豊かな自然は、今も昔も変わらず子どもたちの成長を支えています。

私たちは、激しく変わりゆく社会の中でも、下田の子どもたちがそれまでの成長を礎にしなやかに対応する姿を望んでいます。そして一人一人が一心に取り組めることを見つける中で、自分らしさを存分に発揮し、健やかに成長する姿を「地域ぐるみ」で支え、子どもたちの夢の実現を目指します。

市民の皆さんと教育理念や取組を共有し、豊かな自然環境の中で子どもも大人も共に学び合い、未来を創る子どもたちの姿を支えていきましょう。

教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

- ・人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充
- ・新しい時代に対応した魅力的な学校づくり
- ・ICT等学習環境の基盤整備
- ・子どもの安全・安心の確保と防災教育の充実
- ・生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備

教育理念の実現に向けた取組

心とからだ 生き生き元気

その子らしさを大切にし、安心して存分にその子の資質・能力を伸ばすことができる教育環境を整え、健やかな心身の育成を目指します。

自ら学び みんなで深める

一人一人のよさや可能性を引き出せる魅力ある授業づくりを基盤とする中で、学校間・校種間の交流活動を推進します。

子どもも大人も 体験・探究

下田の豊かな自然と資源を生かした地域ぐるみの体験・探究活動を通して、豊かな感性を育み郷土への誇りと愛着を高めます。

新たな発見 異文化交流

開国のまちの特色を生かした多様な文化の交流を通して、柔軟なものの見方・考え方を育み、下田の魅力を再確認する活動を推進します。